

池田記念美術館
イケビふれあい通信
10月号
H26年 No.51

稲刈りが終わると、アツという間の冬支度へ。すずきが風に揺れると、山では紅葉が始まります。しばし目の保養の時期到来です。

◆幸せのカレンダー2015

イケビふれあい通信は、今号で51号になりました。創刊第1号は2010年の8月。ご近所の皆様とご近所づきあいをしたい、単にそんな思いでスタートしました。記事内容は自己紹介、部数も80部でした。

初代の編集長はいまは亡き井口真紀子、美術館の仕事を愛し、入館者のアイドルでもありました。時の過ぎ行くをつくづく実感させられます。

ご近所づきあいはいまや県外にも広がり、部数は1800部に膨らみました。そのよきつきあいの結晶が、このたび作品を生み出すことに。「魚沼からの発信」と題し、池田記念美術館から『2015年CALENDAR』が新発売されました。魚沼に魅せられた写真家による「魚沼ベストショット展」第3



美術館の新作カレンダー。ショップで販売しています

回展の作品が掲載され、魚沼の自然の素晴らしさを、全国にアピールするもので、印刷は三条印刷さん、特別な計らいをいただきました。みんなの愛の結晶は、きつと幸せを生むものになると思います。(館長 佐藤吉昭)

◆染め・村山雨景展

村山雨景氏は「染め」一筋に生き続けている。その職人魂に裏打ちされた探究心が染色作家・染色画家として多くのファンを魅了する。創作活動は伝統を守るだけでなく、挑戦の連続のようだ。

十日町市に生まれた村山雨景氏は、幼いころより父母の手織染色を見ながら育ち、京都で手描本友禅・ロウケツ染めを修業。作家活動を続ける中で、伝統的な染色技法と現代の日本画技法を取り入れた『雨景染絵』を編み出した。2012年には制作50周年を迎え、個展も500回を超えた。

今回、その人生をかけた「染め」の集大成を池田記念美術館で披露していただける。期間中には、なかなか見ることでできない染めの実演と、ご自身による作品解説会を予定しています(10月12日、13日、26日)。この機会に、个性的でファンタスティックな『雨景染め』をご堪能ください。(岡西英孝)

◆ショップのあれこれ

猛暑の夏から、残暑がなく、すぐに秋になり、衣替えが間に合わず慌ててしまいました。3日からの「染め・村山雨景展」ではショップで作品やグッズの販売を致します。ハガ



会も増えると思います。今のウェアは機能性を重視し、快適に運動できるように細部にまでこだわって作られています。ショップでも販売していますが、スポーツイベントの会場でも販売をします。10月26日の水無溪谷りパーウォークで出店していますので、是非お立ち寄りください。(佐藤良子)

◆日本美術展小室が新しくなりました

9月から二階の常設展示室のひとつ、日本美術展示室の作品が新しくなりました。今回はラグーザ・玉の作品をメインに、良寛の書や星裏一の版画など、当館が所蔵する代表的な作品を展示しています(写真左)。

見どころとして、NHKの朝の連続ドラマ小説でも登場した白蓮の歌入絵皿はぜひご覧いただきたい作品です。白蓮自身の手による箱書きも美しいので、桐箱も一緒に展示いたしました。また、人間国宝の芹沢銈介の作品



もあります。うちわの図案を纏めた『うちわ絵帖』と佐藤春夫の小説『極楽から来た』の挿絵です。いずれも黒い線が主役となりますが、同じ黒の線でも、良寛や白蓮の筆の線は

流麗で柔らかな味があります。対して芹沢の型絵染めは、ナイフで切りだした単純化された線で構成されています。異なる黒の線の魅力を味わうことができます。(広田かおり)

◆八色の森市民まつり

秋恒例の「八色の森市民まつり」が今年も盛大に開催されます。美味しいB級グルメが揃うB1グランプリや熱気球体験など、楽しい催しが盛りだくさん！さらに美術館でもお祭りを盛り上げるべく、11月2日(日)は入館無料で開放し、皆さんをお迎えします。企画展はもちろんのこと、貴重なスポーツの展示品なども自由に観覧できます。

また、2日はエントランスホールにて無料のコンサート「音を楽しむ集い」を開催いたします。池田音楽クラブのメンバーが一日中素敵な演奏をお届けしますので、ぜひお越しください。さらに、コンサートの他にもイベントを企画していますので、お楽しみに！

食欲・スポーツ・芸術と3つの秋を欲張る八色の森市民まつり。ご家族やお友達と楽しい秋の思い出を作ってみませんか？(櫻井多美子)

◆里山のサルとクマ

休日の朝、裏山のネムノキの枝にサルがうとうと休んでいました。すこし離れたホオノキでは、賑やかに空中サーカスです。しばらくすると、子ザルを背中にのせた親ザルが広場を横断していきました。近所の家の畑はサルの被害で散々とのことですが、我が家ではいまのところ、トマトが数個かじられただけで済みそうです。クマの出没情報もありました。山道を登ったところに村のため池があり、クルマの木の爪痕が残っていたとか。秋の夜長、クマと遭遇したらどうやって逃げたいか、家族と勉強中です。(高橋良一)

星野富弘の詩画の世界

桑原みさ子

星野富弘氏が頸髄（けいずい）損傷後、初めて文字が書けるようになってから、44年の歳月が過ぎました。この間に独自の詩画の世界をつくり上げてきたのです。創作活動を通して自然を見つめ、家族を見つめ、社会を見つめる星野氏。68歳になる現在もなお、意欲的に制作を続けています。

「私は絵に関してなにもわからなかったがこの自然のままに咲いている花を、そのまま写していれば、よい絵が描けるようになるのではないかと思った。」（『愛、深き淵より』）

この思いのもと、星野氏は特別な技法にこだわることなく、草花を見つめ、日々描き続けています。

作品の多くは、野に咲く草花。花は一つとして同じものはなく、描く度に発見の喜びがあるといえます。1972年に書く喜びを得て以来、今日に至るまで、500点余りの作品を生み出しています。そのほとんどを花の絵とし、今もなお発見の喜びのもと、これらを描き続けていることにおいて、星野氏がいかに花々に魅せられているかが理解できます。詩文についても、日常の中に輝く小さな「いのち」をとらえた言葉は、私たちのこころの奥底に響きます。今回の詩画展では、星野氏の珠玉の作品をご覧ください。

（富弘美術館学芸員）

※「星野富弘 花の詩画展」は11月8日から開催します。

池田記念美術館 展覧会&イベント情報

■染め・村山雨景展

画業50年一少年期15歳から65歳までの集大成を展示—

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：10月3日（金）～11月4日（火）

伝統的な染色と現代的な日本画の技法を取り入れた独特の「雨景染め」作品の集大成！

■村山雨景氏による実演・解説会

10月12日（日）、10月13日（月・祝）、10月26日（日） ※各回13：30開始



村山雨景「静かなる夜（瓢湖）」

■星野富弘 花の詩画展 南魚沼市市制施行10周年記念

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：11月8日（土）～12月8日（月）

魚沼で初開催！ 星野富弘さんが本展にあたって自ら選んだ作品50点を展示します。

■プロ野球80年—新時代到来！

◎2階スポーツカード展示室 ◎期間：10月21日（火）まで開催中

80年を迎えるプロ野球を熱く応援。最新のベースボールカードを展示中です。「ドラフト1位指名」「助っ人外国人ベスト10」のパネルコーナーも設置し、1986年に来日したメジャーリーガーのサインボールや100年前の貴重な大リーグカードも公開中です。



星野富弘「菊」

■常設展（日本美術展示室を展示替えしました）

「日本美術展示室」日本最初の女性洋画家であるラギーザ・玉の油彩画と少女時代の習作、會津八一の書、星襄一の版画、良寛の書、芹沢銈介の型染めなどを展示しています。「小泉八雲展示室」日本文化を深く愛した小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）。小泉家秘蔵の資料約1500点の中から、直筆原稿や公文書、家族との書簡などを展示しています。「スポーツ文化展示室」野球、相撲、オリンピックを中心としたスポーツコレクション。草創期の野球文化を知るユニフォームなど歴史的な展示品を見ることができます。

◎今後の展覧会&イベント情報

■月例音楽会 10月12日（日）11時30分 ※10月のフォークソングの日は、お休みです。

■笹舟混声合唱団ミニコンサート 10月19日（日）11時開演 ※入場無料

42年前に誕生、年1回の定期演奏会を開催する混声合唱団。12歳から86歳までの団員27名が息の合った合唱を披露してくれます。曲は「通りゃんせ」「五木の子守歌」「ハレルヤ」など。

■南魚沼郡市児童生徒美術展

◎期間：12月12日（金）～12月23日（火）

南魚沼市と湯沢町の児童生徒の作品、約500点を展示。期間中は全館無料となります。

耳寄り情報

11月2日の美術館は音楽づくし！

今年の「八色の森市民まつり」は11月1日～2日。公園一帯はお祭り一色になります。美術館では2日の日曜日、10時～16時まで一日中、音を楽しむ集いを開催します。エレクトーン、津軽三味線、フォークソングなど出演者多数。当日は全館無料となります。

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3（八色の森公園内）
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815

【開館時間】9：00～17：00（入館受付は16：30まで）

【入館料】一般 500円 高校生以下無料

【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【10月の休館日】毎週水曜日（1日、8日、15日、22日、29日）
※2日は展示替えのため臨時休館となります。

※展覧会の最終日は15：00閉館（入館受付は14：30まで）

※10月10日（金）は当財団初代理事長、ベースボール・マガジン社創業者の池田恒雄と、ベースボール・マガジン社社長池田郁雄を偲ぶ会を開催いたします。お騒がせいたしますがご了承ください。なお、展覧会は通常通りご覧いただけます。